

全国進路指導研究会

春のセミナー：2017

生きる・学ぶ・働く一子ども・青年とともに未来を拓こう！

■ 2017年5月14日(日)

13:30~16:30 開場 13:15

■ 都立多摩図書館 2階セミナー室①

国分寺市泉町2-2-26 042-359-4020

(JR 中央線／西国分寺駅南口徒歩7分)

※1月末に開館／オープンしたばかりの「子どもの本」と雑誌を中心とした都立図書館です。お隣は武蔵国分寺史跡に連なる公園です。

■ テーマ～「過労死防止対策推進法」が制定されたもとで～

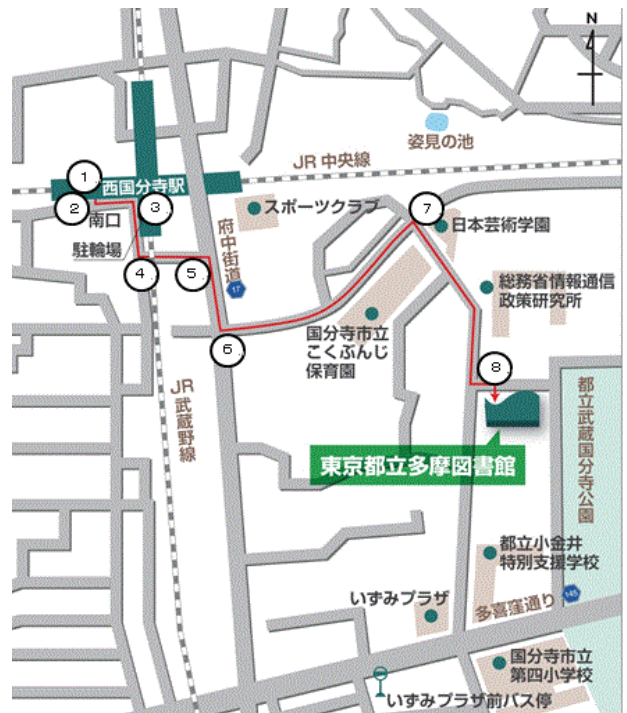
「過労死社会」と学校〈Ⅱ〉

2014年「過労死等防止対策推進法」が成立しました。

過労死／過労自殺問題を社会問題化して訴え、ご遺族とともに法制化運動の中心におられたのが、昨年結審した「電通事件（高橋まつりさん）」の原告代理人：川人博弁護士です。2006年の全進研大会@一橋大学（兼松講堂）にて【「過労死社会」と学校】というテーマで記念講演をしていただきました。その後、私たちの「働くこと」の学習・教育実践に生かされています。

法律制定を受け、全面的に改訂されたご著書『過労自殺（第二版）』（2014年／岩波新書）の「はじめに」に、「…とくに深刻なのは、20～30代の青年労働者の過労自殺である。きびしい就活を経て入社した若者が、つぎつぎと仕事上の過労・ストレスからうつ病など精神疾患に罹患し、ついにはいのちを断ってしまう。このような由々しい事態が業種・職種を問わず全国の職場で発生している。わが国の将来を担う若者の多くの悲しい死を前にして、私は日々暗澹たる気持ちになる。」と記されています。

「過労死／KAROSHI」という言葉が、国際語となって久しいもとの、厚生労働省委託事業「過労死防止・労働条件に関する啓発授業」が取り組まれています。「過労死」をなくす社会へ！学校教育／学校現場の課題と役割を見つめ直す機会です。ぜひ！



講演：川人博さん

(過労死弁護士全国連絡会議幹事長)

1978年弁護士登録、88年から「過労死110番」の活動に参加し、現在過労死弁護士全国連絡会議幹事長。著書『過労自殺』（1998／岩波新書→2014第二版）『過労死社会と日本』（花伝社）『過労死と企業の責任』（社会思想社）
☆実践報告：北條薫さん（都内私立高校社会科教員）
高校社会科での「働くこと／労働法制」についての授業実践から。

資料代：1000円 / 学生無料

主催 ● 全国進路指導研究会

連絡先 090-9145-9892

HP <http://zenshinken.jimdo.com/>

Email zenshinken@hotmail.com